

## 根子岳～西峰から天狗峰往復～

【報告者】ダニー

【日時】2017年4月30日 【天候】晴れ

【参加者】Tさん(PMT)、Aさん(会員外)、ダニー

### 《コースタイム》

6:30 起床(宮地駅)-7:30 ヤカタガウド登山口、8:00 登山開始-9:30 西峰下(ハーネス装着)-10:50 ローソク岩-11:40 天狗の大下り-12:30 天狗峰-12:45 引き返す(天狗峰の少し東の地点)-13:10 天狗の大下りを懸垂下降-14:15 西峰下 14:30-15:30 駐車場所

### 《 報 告 》

4/29 に阿蘇に入り、宮地駅前に車中泊。着くとすぐに車中にて宴会となった。もう一人の同行者は明朝やってくる。飲食ご2時過ぎに就寝。

翌朝やってきたAさんは50台後半ぐらいの男で、背が高く痩せている。爽やかオヤジという印象。ガイドの資格を持っているという。ただし、登攀のガイドはできない資格なのだそうだ。Tさんの技術を盗みに来たとのこと。

西峰の手前でハーネスとロープを付ける。この日のテーマはコンティニューアスでの岩稜歩きである。行きはダニー、Tさん、Aさんの順。Tさんの前後にロープを6m出した。最近は手にロープのループを持たずに、全身で斜面にしがみついて、滑落者を止めるのが主流とのこと。タイトロープで稜線を進んでいく。ペース配分が難しい。自分がロープを引きすぎると後続がバランスを崩してしまうし、緩いと滑落者をすぐに止めることができない。適度な張り具合となるようにペースを微妙に調整する必要がある。途中のローソク岩はTさんがリードし、ここは50mロープを折り返し、25mのダブルロープで登った。上記の配置の場合、中間に位置する人が自動的にダブルロープになり、比較的難易度の高い場所を担当することになる。

3回目の根子岳で、初めて天狗の大下りをリードで登った。上部に2つの確保支点があるが、上の支点までピッチを切らずに登った。ルートが岩峰を巻き込むようになっているため、中間支点へのロープの通し方に注意しなければならない。でなければ終盤は地震の影響か浮石が多く、非常に緊張した。

天狗峰から東へ約10分の地点で稜線が大きく崩壊しており、縦走は困難と判断し引き返すことにした。帰りもコンティニューアスで行く。帰りの先頭はAさん。ちょっとした岩場では、止まって確保せず、ランニングコンテで進む。いかにパーティーの動きを止めないようにするかが肝心とのことだ。危険箇所は素早く安全に通過するのがアルパインの基本だが、改めて山行のスピードを意識することになった。